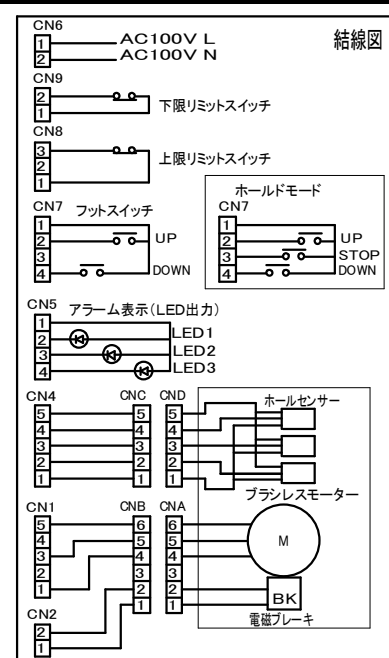
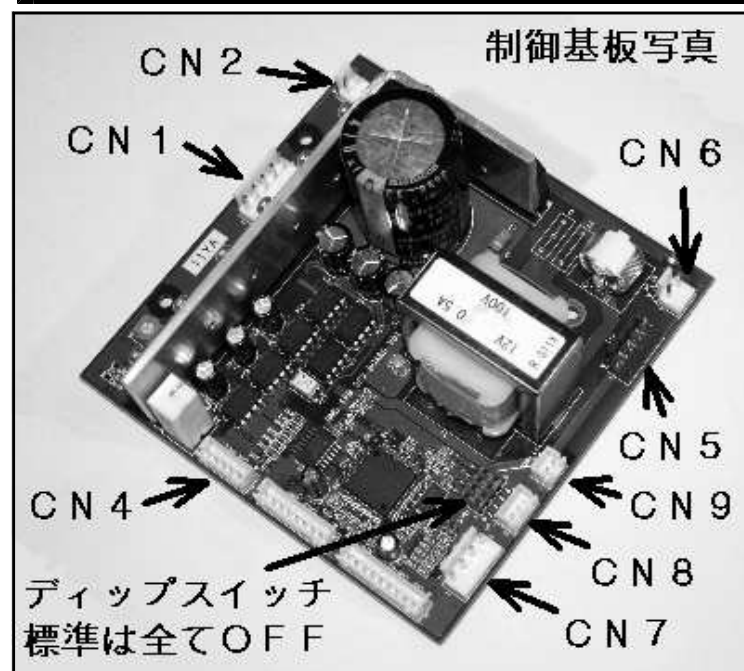


## 仕様

型 式	許容 荷重	テーブル寸法 W×L (mm)	ストローク ST (mm)	テーブル高 (mm) MIN～MAX	上昇時間 (秒)	最大使用 頻度	モーター 出力 (W)	自重 (kg)
ATM100-46V12	100kg	400× 650	430	130～ 560	10	30回/時	70	32
ATM100-58V12	100kg	520× 850	430	130～ 560	10	30回/時	70	40
ATM250-58V12	250kg	520× 850	500	150～ 650	22	15回/時	70	50



## 品質保証

- 保証期間はリフトを納入した日から**1年**、もしくは、**稼働回数4万回**までと致します。
- 保証期間内に取扱説明書に従った、正常な使用状態で故障が生じ、弊社がその欠陥を認めた場合は、無料で修理致します。
- 保証期間内でも、次の場合は有料になります。
  - ①**使用上の誤り**、及び不当な修理や**改造**による故障、及び損傷。
  - ②**災害**又は、天災や公害による故障、及び損傷。
  - ③**指定外の電源**による故障、及び損傷。
  - ④**事故**によって生じたと認められる故障、及び損傷。
  - ⑤軸受・ブレーキ・潤滑油などの**消耗品**。
  - ⑥**組立・取り付け不備**による故障、及び損傷。
- 日本国以外**で使用された場合、すべてに責任を負えません。

# アズワン株式会社

■商品についてのお問い合わせは

カスタマー相談センター

フリーダイヤル ☎ 0120-700-875

FAX 0120-700-763

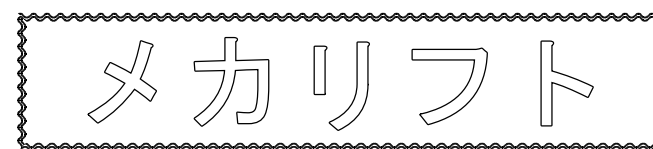
問い合わせ専用URL <http://help.as-1.co.jp/q>

受付時間: 午前9時～12時、午後1時～5時30分  
土・日・祝日及び弊社休業日はご利用できません。

# 取扱説明書

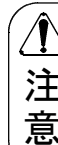
1-3225-01~03

No. 240705



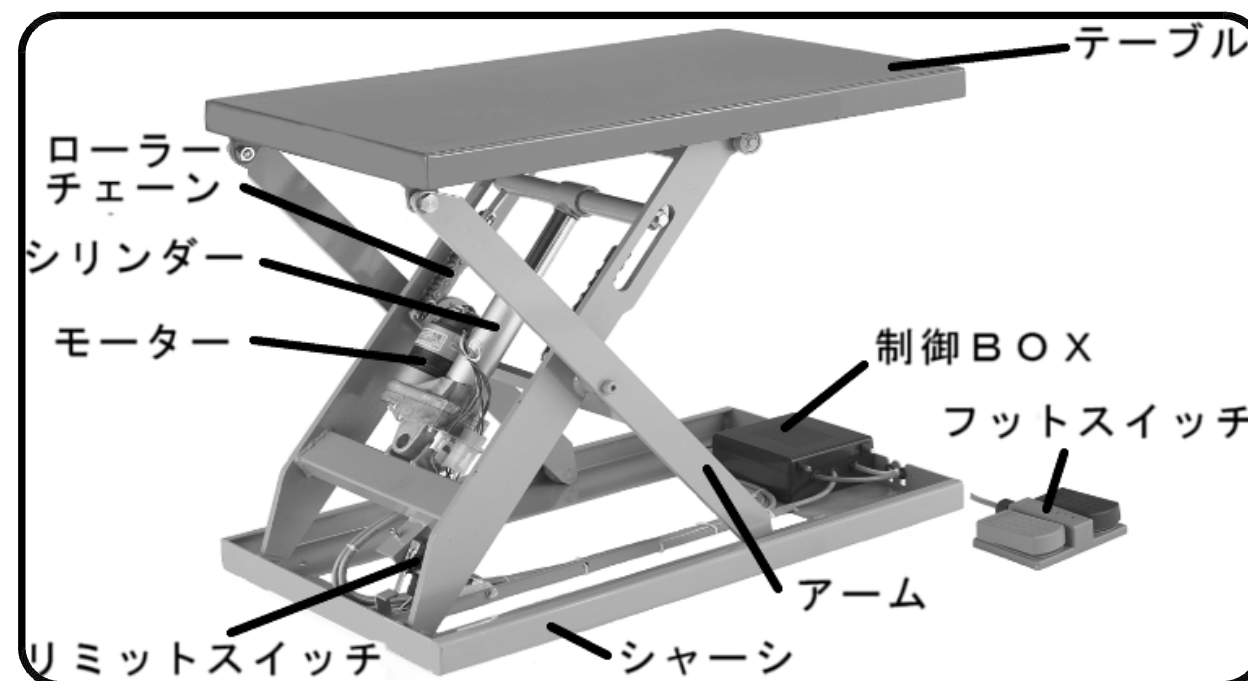
(ブラシレスモーター・ベクトル制御仕様)

この度は、メカリフトをお買い上げ頂きましてありがとうございました。  
本機を安全に、能率よくご使用頂くために、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。



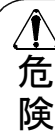
- 取扱説明書は大切に保管し、よく活用してください。
- 取扱説明書は最終ユーザーに必ずお渡しください。
- 取扱説明書や警告ラベルを破損・紛失した場合には、ただちに購入店に注文してください。
- 取扱説明書で使用方法に不明な点や疑問点がある場合は、購入店にお問い合わせください。

## 1 各部の名称



## 2 据付

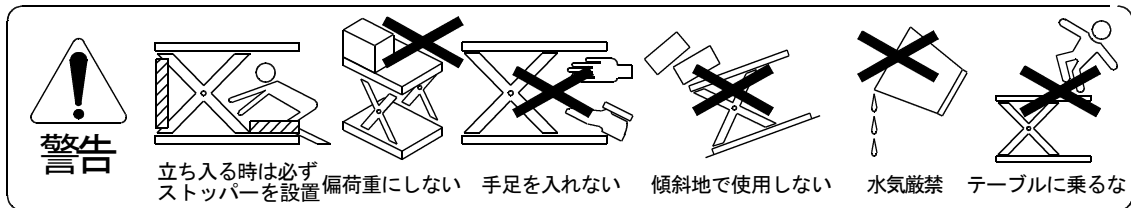
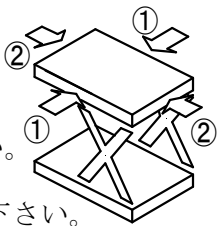
- 屋内に据え付けてください。(塵埃の少ない、水、蒸気のかからない場所)
- 周囲温度 0～40℃ ●周囲湿度 85%以下 ●高度 1000m以下



- 運搬、設置、配管、配線、保守、点検、は専門知識と技能を持った人が実施してください。感電、けが、火災、装置破損のおそれがあります。
- 爆発性雰囲気中では使用しないでください。
- 設置時などに、クレーンや手などでテーブルを持ち上げないでください。

### 3 安全上の注意事項

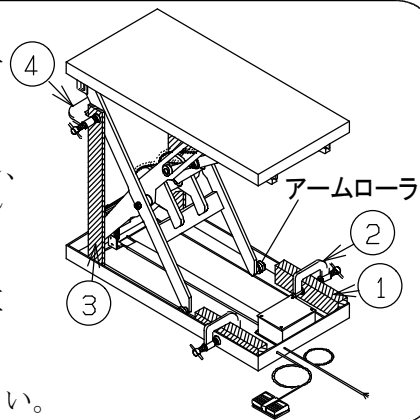
- リフターを運搬される場合は、テーブルを下限まで降ろし、シャーシ底部にロープを掛けて吊り上げるか、フォークリフトでシャーシ底部をすくい、**水平に運搬**してください。倒さないでください。
- 許容荷重**以上は載せないでください。
- 屋内専用**です。屋外には設置しないでください。
- 傾斜地**では使わないでください。転倒事故のおそれがあります。
- 積載物の移載時の許容荷重は右図の①は**1／4**②は**1／2**で設定してください。
- 基板のボリュームをさわらないでください。
- 改造**してのご使用はおやめ下さい。やむをえず、改造される場合はご相談下さい。
- 積み荷はテーブル面からは**み出ない**ように、又**片荷**や**集中荷重**にならない様均等に荷積みしてください。(テーブル面のほぼ中央の2/3以上を覆うこと)
- リフターの可動、昇降部分は危険です。絶対に**手足を入れない**でください。メンテナンス時には、挟まれないよう二重三重の安全対策を設けてください。
- 本機は防水仕様ではありません。**水気**のある雰囲気で使用しないでください。
- ピットにリフトを入れる場合には、湧き水や雨水が流れ込み**感電**のおそれがあります。排水設備・点検用のスペースを確保してください。
- ジャバラ**にさわったり、水を掛けたり、火気を近づけたりしないでください。
- 長期間使用しない時や、メンテナンス時には必ず**電源を切って**ください。
- 溶接作業を行う場合には基板等の**電気部品を全て外して**ください。
- 子供**にさわらせないでください。
- 異常を感じたら直ちにお買い求めの販売店にご連絡ください。



### 4 保守・点検時の下降防止安全対策

保守・点検などリフト内に入るときは、テーブル上の荷物や治具を降ろし、下降防止ストッパーを設置して電源を切り、テーブルやアームが下降して手足を挟まないように二重三重の安全対策を施してください。ストッパー等を設置しないとテーブルが下降して死亡災害のおそれがあります。

- 1, テーブル上の荷物や治具を降ろす。
- 2, テーブルを半分以上上昇させてください。ジャバラ付きの場合は、テーブル側のビス4本を外してジャバラを降ろすか、シャーシ側を捲り上げてください。
- 3, 左右のアームローラにストッパー（角材）①を噛まし、アームが下降しない様にし、且つストッパー①がずれないようにシャコ万力②でしっかり固定してください。
- 4, アーム支点軸側の端にストッパ（鋼材）③2本を垂直に立て、シャコ万力④でしっかり固定してください。
- 5, 電源を切ってください。  
※ストッパー、シャコ万力等はお客様でご用意ください。



- テーブルをクレーン等で吊り上げないでください。破損の原因になります。
- 制御ボックスの基板には、電源を切っても完全に放電するまでさわらないでください。感電のおそれがあります。
- 下降防止対策をせずにモーターを外さないでください。油圧リフターとは違いますのでテーブルは即落下します。

### 5 操作方法

- 1, 電源コードを電源（単相 AC100V、電流容量 5A 以上）に接続してください。
- 2, フットスイッチの”UP”を踏むと上昇し、放すと停止します。
- 3, フットスイッチの”DOWN”を踏むと下降し、放すと停止します。
- 4, 上限・下限に達したらリミットスイッチの働きで自動的に停止します。**アラーム表示灯**電源投入後2回目からの動作は、リミットスイッチの手前で減速し停止します。



- 1、規定の最大使用頻度を超えないよう十分余裕をもってご使用ください。
- 2、昇降スタート時、停止時に電磁ブレーキの開閉音（カッ）がしますが異常ではありません。
- 3、上限・下限に達したら速やかにスイッチを離してください。アラームの原因になります。

- ・上限、下限の位置  
電源投入後、それぞれ1回目のリミットスイッチの信号を上限もしくは下限としリフターが記憶します。2回目の動作では、その位置よりも上限側は約5mm低い位置で、下限側は約3mm高い位置で停止します。  
電源を切るとその位置は忘れますので、再び1回目の動作ではリミットスイッチの位置までテーブルは動きます。  
基盤上のディップスイッチの1番、2番をONにしますと、この機能を解除しリミットスイッチの位置までリフターは昇降します。  
\*リミットスイッチの調整（例）  
上限のリミットスイッチをテーブル高さ 430mm で設定しリフターを動作させた後に、リミットスイッチを調整し直し 400mm にすると 400mm で止まりますが位置を記憶していませんので減速停止しません。  
電源を切ると 400mm の位置を記憶し直しますので、電源投入後2回目の動作から 395mm で停止します。



**注意** 上昇端・下降端のリミットスイッチは出荷時に限界値で設定してあります。調整する場合は限界値を越えないように注意してください。限界値を越えますと破損の原因になります。

### 6 アラーム（警報）表示

マイコンに依り常に安全をチェックしています。  
万一、異常を検知するとフットスイッチのランプを点灯させて異常箇所を知らせます。アラーム表示が出ましたら直ちに運転操作を止めて原因を調査の上、対策を行ってください。



＜リセット方法＞

- ・アラーム1～4：反対側のフットスイッチを押すと解除できます。
- ・アラーム5、6：電源を切ると解除できます。

〔 ○一点灯 ●一消灯 〕

- 1：●●○ー上昇側電流検出（過負荷・上限リミットスイッチ不良等により、上昇中にモーターに過電流が流れた。）
- 2：●●○ー下降側電流検出（過負荷・下限リミットスイッチ不良等により、下降中にモーターに過電流が流れた。）
- 3：●●○ー上昇不良（何らかの原因で上昇しなかった。）
- 4：○●●ー下降不良（何らかの原因で下降しなかった。）
- 5：○●●○ーリミットスイッチ異常（破損等により上下限のリミットスイッチが同時にONしている。）
- 6：○●○ーセンサー異常（ホールセンサーの異常）
- 7：○●●→●○●→●●○ 繰り返しフットスイッチ異常（電源投入時スイッチが入った状態になっている）

### 7 その他の機能

- ・ホールドモード（3点押釦式）  
お客様で改造するときには、次のページにある結線図を参考にしてください。  
ストップの入力を追加し、基盤のディップスイッチの1番をONにしてください。



**注意** 上限・下限のリミットスイッチが正しく動作しているか確認してください。リミットスイッチの位置がズレていると破損します。

- ・シーケンサ入力  
お客様で改造するときには、次のページにある結線図を参考にしてください。  
必ずドライ接点で入力してください。

### 8 保守点検

点検は必ず無負荷の状態にし、内部を点検するときは前記の下降防止安全対策を施してから行ってください。日常点検により万一異常が発見された場合、直ちに運転を停止し原因を調査の上、対策処理を行ってください。

日常点検	定期点検（稼働時から1ヶ月、3ヶ月及び1年毎）
■リフトの昇降動作に異常はないか。	■各接続部のボルト、ナット等の破損やゆるみはないか。
■周囲に傷害物はないか。	■可動部に異常摩耗はないか。
■本体外観上に異常はないか。	■溶接部の亀裂や破損はないか。
■異常音や異常発熱はないか。	■電気配線等に亀裂や破損はないか。
	■ローラチェーンにグリースを塗布してください。

※ドライシリンダーのギヤ部とボールねじ部には長寿命グリースを封入していますから、補給なしで長時間安心してご使用頂けますが、1年を目安にオーバーホールを実施して頂くか、ドライシリンダーを新品に取り替えてください。